

議会報告会（H30.5開催分）に関するアンケート調査結果

■調査概要

【調査目的】

市民に開かれた身近で信頼される議会の実現に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

【調査対象】

議会報告会（H30.5開催分）の参加者

- ・6会場の延べ参加者：253人（受付簿記載者）
- ・アンケート協力者：185人（協力者率：約73.1%）

日	地区	場所	担当班	参加人数
5月15日	篠山	篠山市民センター	1	70人
	城東	城東公民館	2	42人
5月16日	西紀	西紀老人福祉センター	1	24人
	今田	今田まちづくりセンター	3	23人
5月17日	多紀	ハートピアセンター	3	42人
	丹南	四季の森生涯学習センター	2	52人
			合計	253人

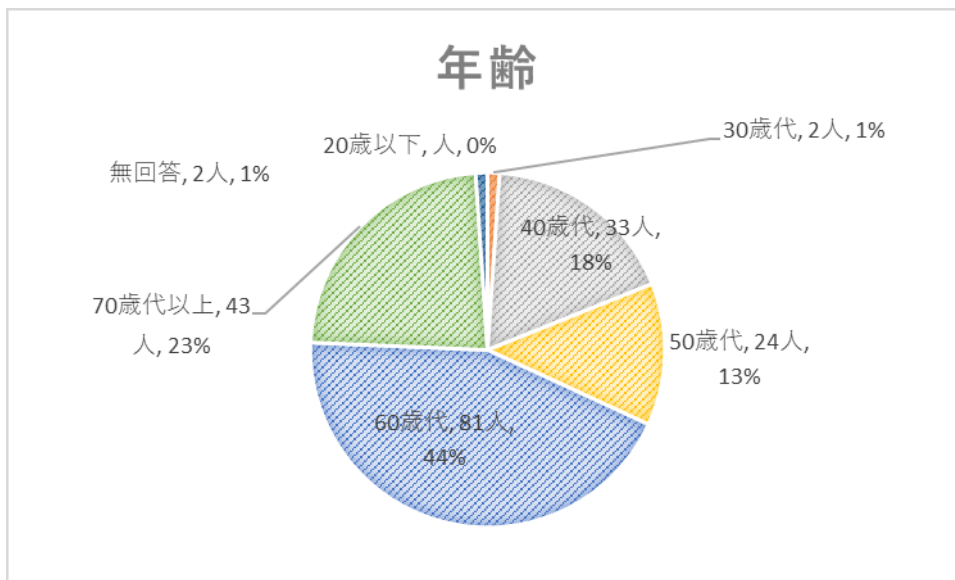
【調査項目】

1. 参加者の属性……………2～3頁
2. 参加回数及び満足度……………3～5頁
3. 議会報告会開催情報の入手状況……………5頁
4. 議会に求めること……………6頁
5. 自由記述……………7～8頁

1. 参加者の属性

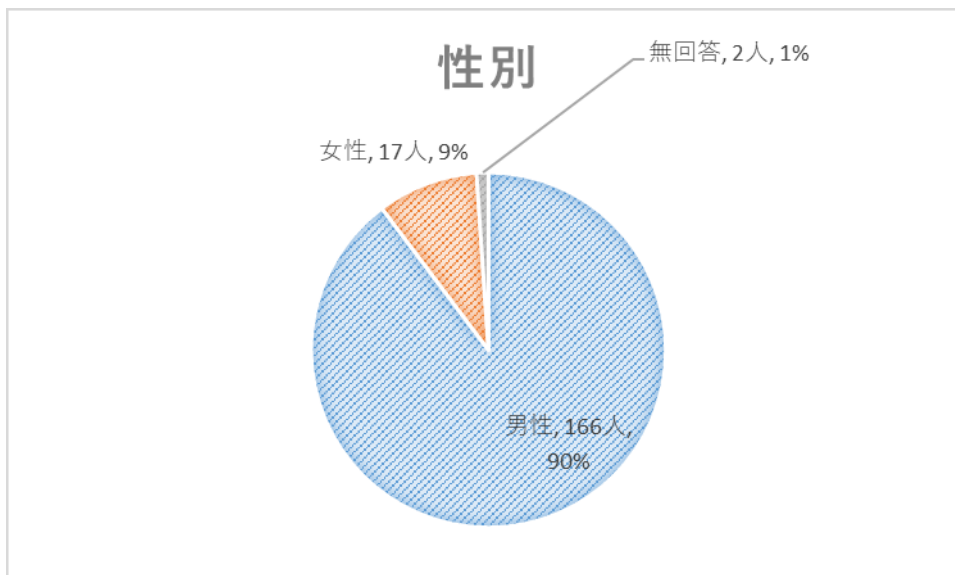
【年齢】

- ・60歳代が一番多く、50～70歳代以上が全体の80%（前回94%）を占めており、40代は33人（前回4人）、30歳代は2人（前回1人）、20歳以下は0人（前回0人）であった。



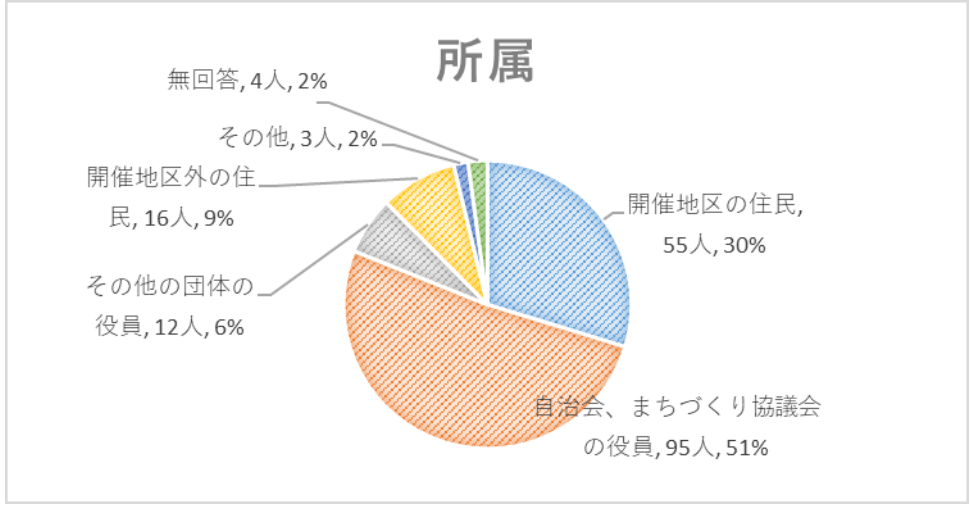
【性別】

- ・「男性」が90%（前回96%）を占めている。



【所属】

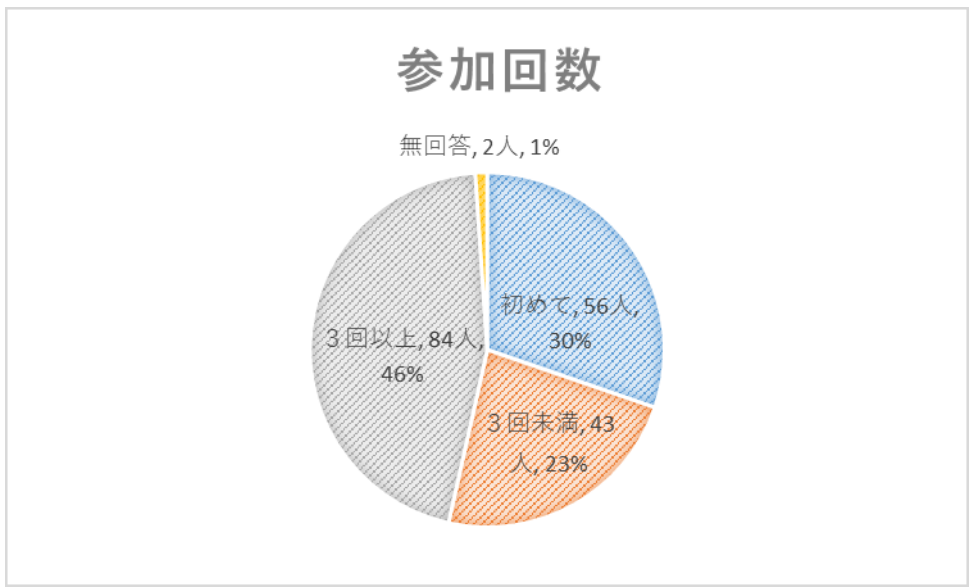
参加者の所属については、「自治会、まちづくり協議会の役員」が51%を占めている。次いで、「開催地区の住民」が30%を占めている。



2. 参加回数及び満足度

【参加回数】

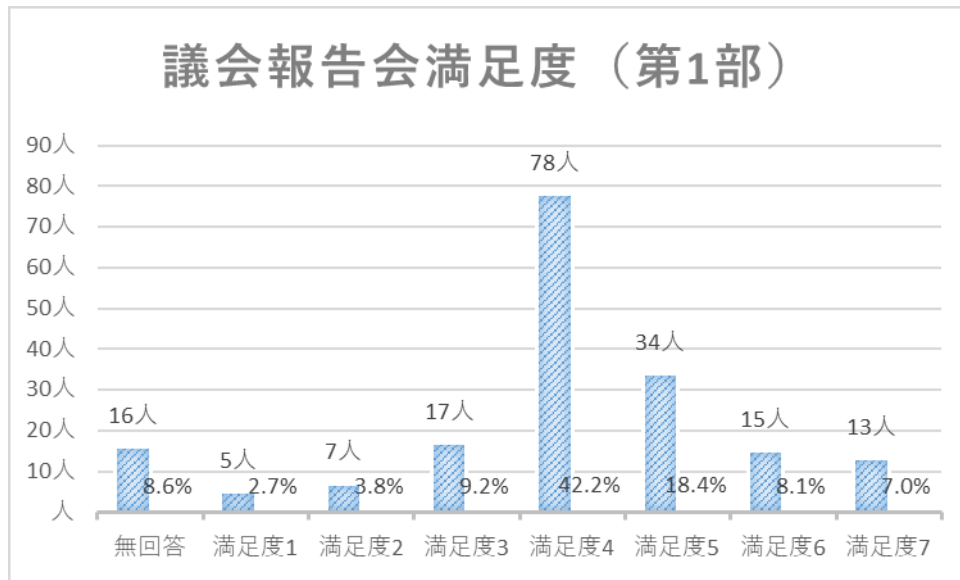
参加回数については、「3回以上」が最も高く46%を占めている。次いで、「初めて」が30%を占めている。



【直近の議会報告（第1部）の満足度】

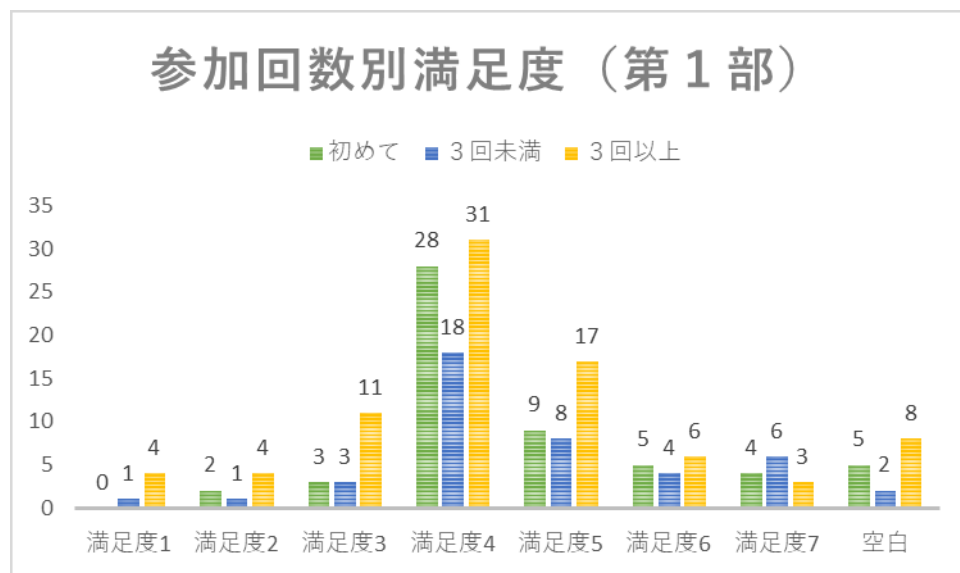
この設問では、満足度を1～7の7段階で回答していただいた。（「1」＝良くなかった、「4」＝どちらでもない、「7」＝良かった）

直近の議会報告（第1部）の満足度については、「4」が42.2%と最も高く、次いで、「5」が18.4%を占めている。満足度の平均は、4.3であった。（無回答と回答した人を母数から除いて計算）



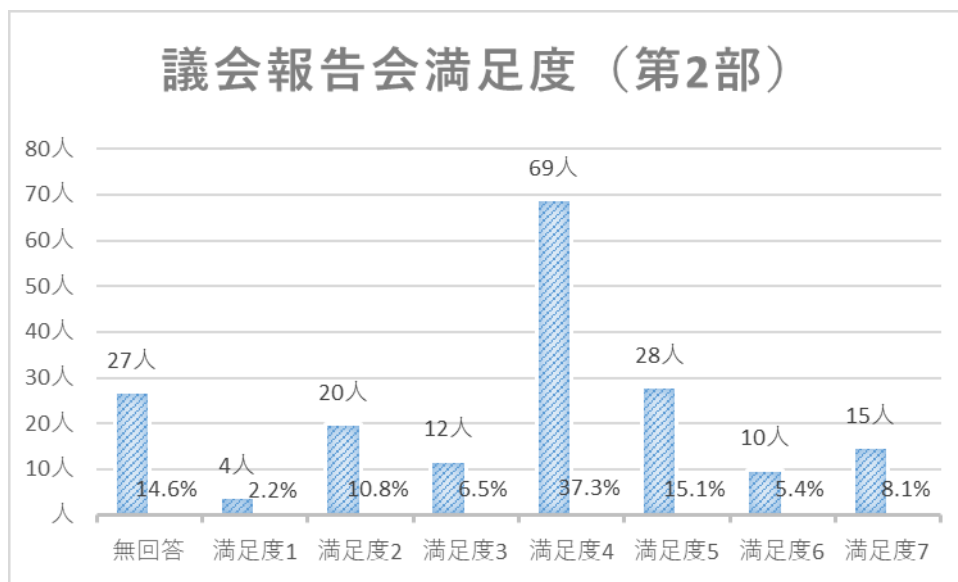
【直近の議会報告（第1部）の参加回数別満足度】

第1部の参加回数別の満足度について、参加回数別に満足度の平均値をみると、「3回以上」は4.1、「3回未満」は4.6、「初めて」は4.5であった。



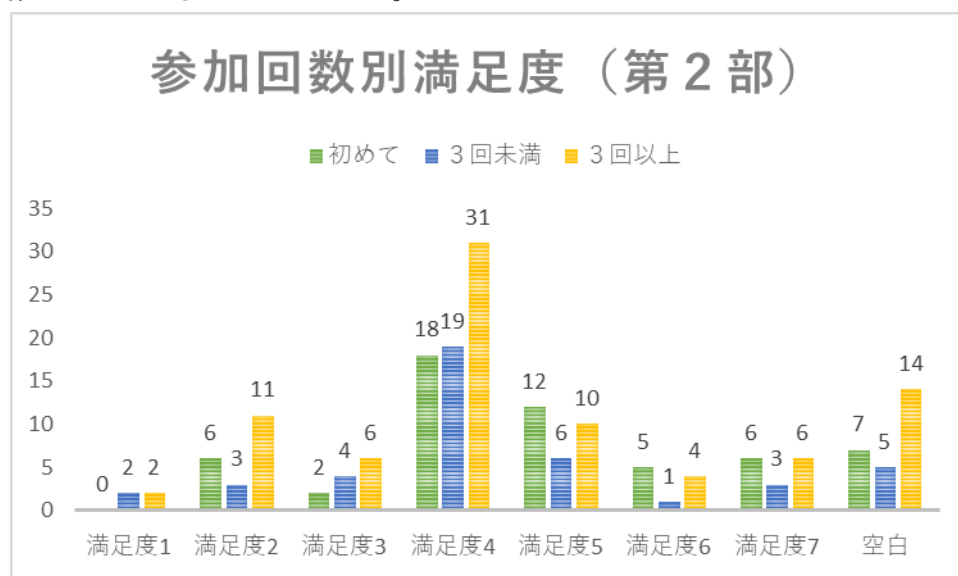
【市名変更並びに地域ブランド振興調査特別委員会調査報告(中間報告) (第2部) の満足度】

テーマを設けた意見交換の満足度 (第2部) については、「4」が37.3%と最も高く、次いで「5」が15.1%を占めている。満足度の平均は、4.2であった。(無回答と回答した人を母数から除いて計算)



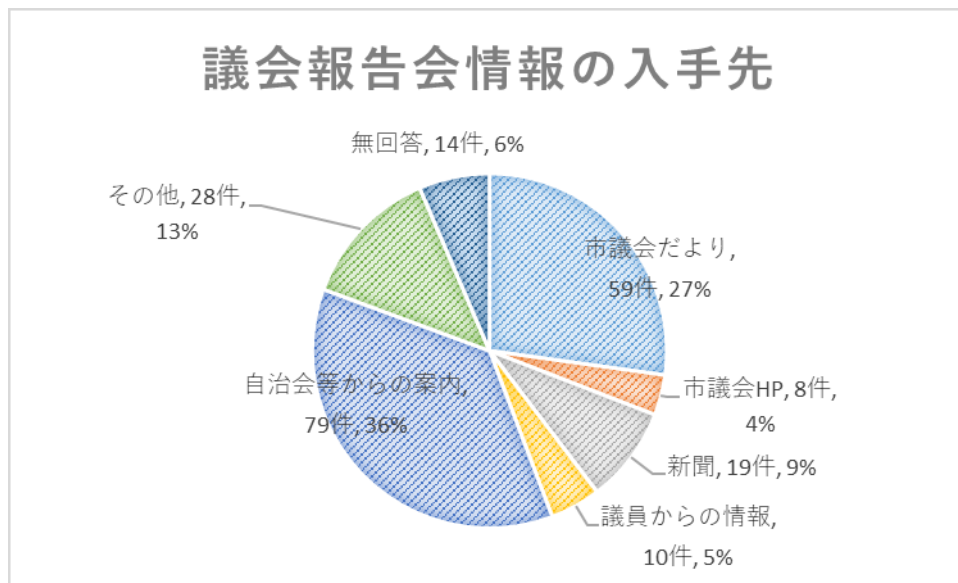
【テーマを設けた意見交換 (第2部の満足度)】

第2部の参加回数別の満足度について、参加回数別に満足度の平均値をみると、いずれの参加回数においても4.0であった。



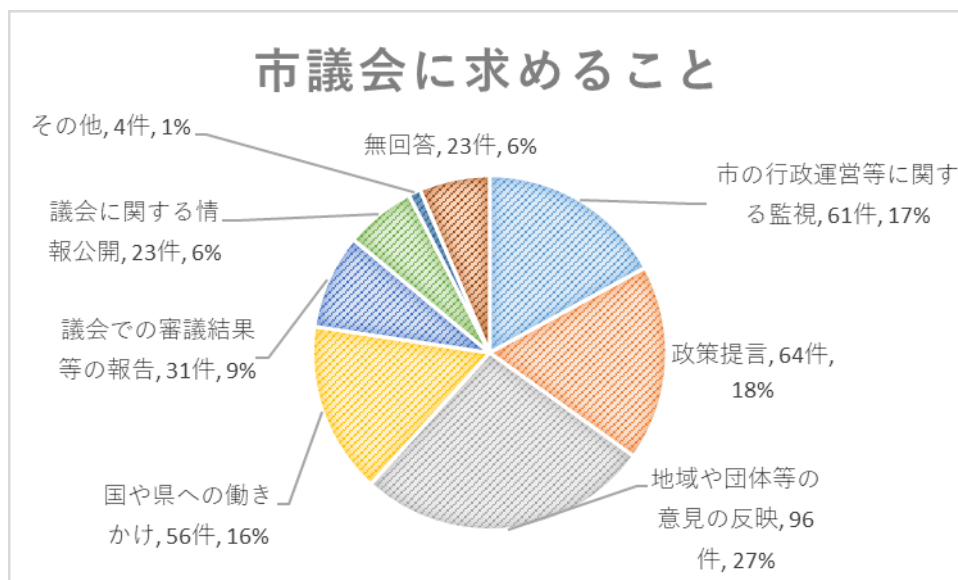
3. 議会報告会開催情報の入手状況【議会報告会開催情報の入手先（複数回答）】

- ・報告会の開催情報の入手については、「自治会等からの案内」が大部分を占めており、続いて「市議会だより」、「議員からの情報」の順である。



4. 議会に求めること【議会に求めること（複数回答）】

- ・議会に求めることについては、「地域や団体等の意見の反映」が27%と最も高い割合となった。次いで「政策提言」が18%、「市の行政運営等に関する監視」が17%を占めている。



5. 自由記述【ご意見・ご感想（要約・抜粋）】

（議会報告会について）

- ・住民が意見をいってる最中に、チラチラと時計を見る姿はあまり感じのいいものではない。報告会そのものがお仕着せで、本当に意見を求めているのではないと感じた。
- ・足を組んで前の席に座っている態度はいかがなものか。
- ・意見がなければ先へ進行してほしい。
- ・前年度の報告会と比較して内容がよかった。
- ・議会報告会の方法について、参加される方がいつも同じ顔ぶれ。幅広い年齢層や女性の参加がしやすい方法を検討してほしい。
- ・質問に対する返答が不十分と感じられる。
- ・報告会が形式に捉われ、市民の思いを汲み上げる時間がないのが残念。市民不在を感じることはないよう質疑応答の時間をもっと取るべき。
- ・意見を言いたがる人が多い。
- ・配布資料の左上の字が見えない。綴じ方が雑であり気配り不足である。
- ・会場係、報告、班長、記録等と表示せず「氏名」を表示すべき。
- ・大きな声で言う意見が全てではないことを認識してほしい。
- ・事前に意見や質問を受け付けるなどのシステムを作してほしい。
- ・議員は自身の意見を述べてほしい。

（議会に対する要望等）

- ・現在及び将来の篠山市にとって重要な課題は何か。議員がどう考えているのかを聞かせてほしい。
- ・議会の主体性をしっかり持つべきである。
- ・2年前に議員が色々な子育てサークルに来られ、意見交換をした。その際も「議会に持ち帰り」と仰っていた。その後の議会だよりでも質問の回答はなかった。「議会に持ち帰り」といわれた以上、何か回答をいただきたいかった。今後、サークルに来られるときは、同じようなことがないようにしていただきたい。
- ・住民の声を十分反映した議会運営をお願いします。
- ・市の予算が赤字といわれる中、議会だよりをわざわざ出す必要があるのか。市の広報誌に統合するか、あるいは議会報告会で十分ではないか。
- ・市議会だよりに関し、馴染みのないカタカナ用語については、説明書きを付けて欲しい。
- ・議員の仕事は、事業考案・実行・結果報告等を行っていくことであるが、出来ていない。他の自治体と友達になるのは仕事ではない。
- ・政務活動費について、視察内容とその成果を報告・公開するべきである。パソコンが使えない高齢者にも伝わる方法で、しっかりと取組を公開してほしい。

（市政への要望）

- ・有料でも構わないので、中学校のテニスコートを使用できるようにしてほしい。
- ・8年前から言われてますが、いつになったら城東公民館に公園ができるのか。

- ・遊具のある公園施設の建設。
- ・市のPRの一つとして、ユーチューバーの所属している会社・企業等と連携し、若者に人気のユーチューバーを招待する等のイベントを企画・検討してほしい。

(その他)

*市名変更に関して

- ・地域ブランドというのは、電通や博報堂の仕掛けにすぎない。あまり広告代理店に騙されないように希望する。
- ・市名変更は、住民投票すべき。
- ・市名変更について、住民、企業が負担と思っていることを解決する策を前面に出すべき。わずかでも援助があれば、賛同者は増えると思う。
- ・早く丹波篠山市に変更して欲しい。
- ・議会としてはっきりと態度を決めてほしい。丹波篠山市が誕生することを望む。
- ・市名変更に関して、若い人に対する説明が行き届いていない。また、市長は「経済効果が52億あり『丹波篠山』への変更は今しかない、市名変更はゴールでなくスタートである」と言っている。ゴールではなくスタートであるならば、最優先にしなければならないことは何か。議会として「市名変更」について、どのように考えているのか知りたい。
- ・市民の意見を聞いていただきたい。
- ・市名変更は手段であり目的ではない。市名変更するにしても、しないにしても地域振興のための政策についてもっと議論すべき。次の世代のための議論が少なく残念である。
- ・市名変更について、一年以上も費用等を費やしている状況は無駄である。
- ・市長と各団体の市名変更の進め方はよくない。東京オリンピックを控えている中、もっと篠山をPRしていかなくてはならない。
- ・小西県会議員の丹波篠山産を表示できなくなるとの発言はとてもインパクトが強く、賛否がゆらいでいる。
- ・丹波篠山市への市名変更スケジュールは。
- ・市名変更問題について、議会で決める前に住民投票をするべき。その結果を踏まえ、審議すべきである。それが住民意思を尊重した現代的住民民主主義である。
- ・「JR篠山口」を「JR丹波篠山」にすることや、「丹南・篠山口IC」を「丹波篠山IC」にすることは、各機関へ要望することで実現可能ではないか。
- ・市名変更しなくても「丹波篠山」の名称は使用可能ではないのか。